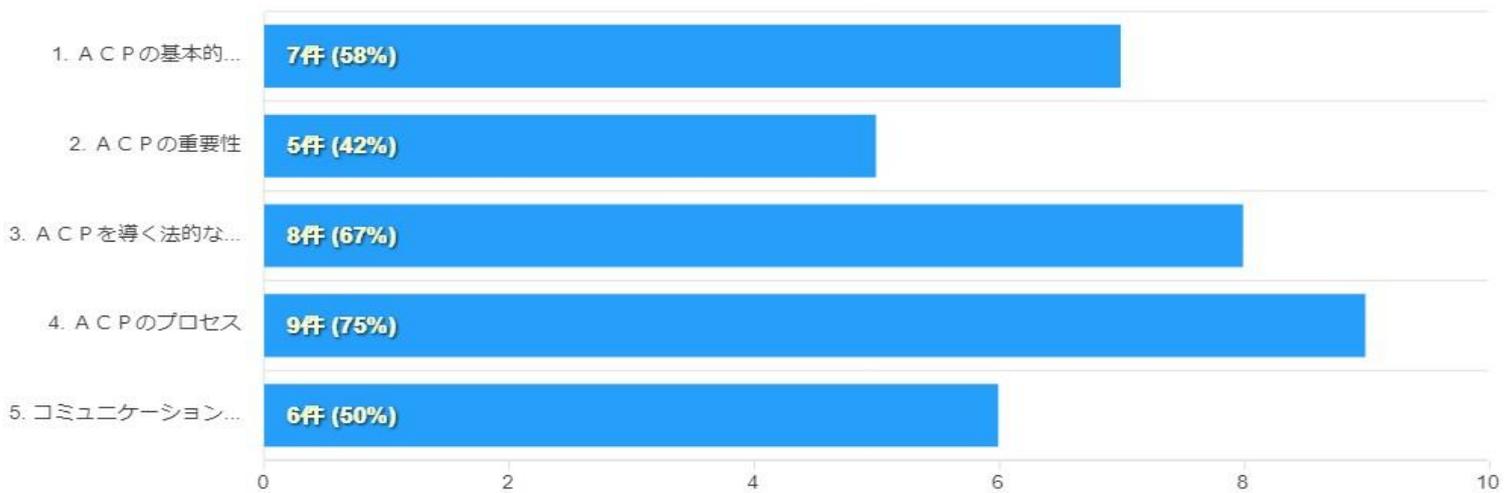


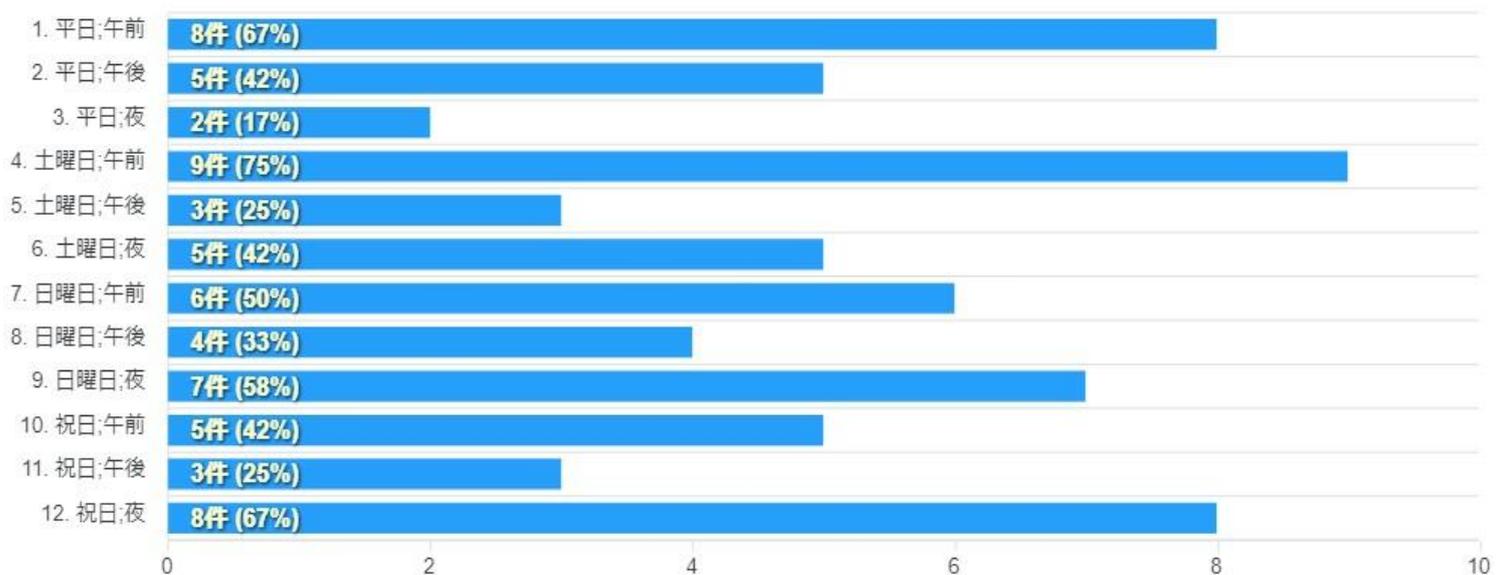
ACP 総論に関する研修で盛り込んでもらいたい内容は何ですか？(3 つまで)



ACP実践編はワークを中心に実施することを想定しています。取り組んでみたい内容は何ですか？



開催日時について、参加が難しい時間帯についてチェックをお願いします



その他の意見：

・知識として学ぶことも必要ですが、実践になかなかつながらない現状が悩みであるため、実践編を学び伝達できる人の育成をしていきたい。

・もしバナゲームをやったことが無い参加者もいるかもしれないので、再度、もしバナゲームを取り入れても良いかと思います。

・ある程度体系的な研修体制が組めるといいと思います。

今年度は急ではあったので、単発的な課題に対応するのでもいいと思いますが、その後は、複数年単位の計画（予算も含めて）も視野に入れることも、検討して下さい。

・ACPの実例紹介⇒話し合いを始めるところから、最終段階までの経過。良かったこと、反省点を含めて。実際の患者・家族の体験談などがあると印象的ではないか。

・患者への声掛けの仕方の理論を学んだあと、それぞれの立場でロールプレイなどでの実践。

・動機づけのために自分の価値観や最終段階の医療に関して考える機会を持ってもらう。

研修で講義を受けてみたい講師の方をご存じでしたら記入してください。

また、その講師を選んだ理由も教えてください。

・宇都宮宏子先生

訪問看護師として実際に活躍され、在宅療養支援について高名な講師であり、わかりやすい講義をされる。

・番匠千佳子先生

以前の講演会の際に大変感銘を受けました。具体的に対応に困る事がとても多いと想像しますが、そんな際にどんな風に接していくのか、肌身で教えて頂ければと思います。（また、医療者側の心の健康にも配慮対応されていると伺いましたが、そこらもお伺いできると有難いと思います。）

・浜松医科大学地域家庭医療学 井上真智子先生

以前、「ACPとは」という研修を受けた際、とてもわかりやすく、人生会議の進め方や終末期の過ごし方など、具体的な内容で理解を深める事ができたため。

以前計画はありましたが、実施できずに終わってしまいましたので、多少内容はアレンジされても、ロールプレイを含む演習実施を希望します。

・静岡大学 死生学、倫理学の竹之内裕文先生

以前、在宅ターミナル看護支援事業の研修で、死とともに生きることや、死をめぐる省察と対話について、もしバナゲームを通して考える研修を受けたことがあり、とても理解を深める事ができたため。

・緩和ケア科 森雅紀先生

多様な調査データも駆使して、ACPへの取り組みの重要性をわかりやすく講演いただけると思います。

・聖隷三方原病院 緩和ケア科 森雅紀先生

多様な調査データも駆使して、ACPへの取り組みの重要性をわかりやすく講演いただけると思います。

・梅田靖子先生

聖隷勤務時やその後にも、大変お世話になっておりました。厳しい局面でどんな風に対話していくのか、現場でやっておられる現状を教えて頂ければと思います。

その他、バリバリとやっておられる方々のお話ならばなんでもです。